

# **第4回地区庶務担当理事連絡協議会**

と き 平成26年7月19日（土）午後5時～  
ところ 京都ホテルオークラ

## **△森会長挨拶**

森府医会長は、医療法改正により医療が大きく転換、変革を余儀なくされるとの見解を示し、政権に流されない覚悟が2期目の横倉日医執行部にあるか、注視し声を上げていく必要があるとの考えを示した。皆保険制度についても、財源が十分に確保できない今の状況の中で、患者の立場に立ち、医師会として皆保険制度の守るもの、変えていくものを見極め、新たなシステムを確立していく必要があると指摘。「財政難だから社会保障費を削減しなければならない」という財源論から入る医療制度改革とは真っ向から対立すべく理論武装をし、「国民を我々が守っていく」という意識が必要になると決意を新たにし、挨拶をしめくくった。

## **△報告ならびに協議事項**

### **1. 庶務関係連絡事項について（濱島理事）**

「地区医師会長への連絡依頼事項」を各地区に配布し、諸手続きについて協力を依頼した。

### **2. 医療政策懇談会について（内田理事）**

と き 9月6日（土）講演会：午後4時30分～6時

懇親会：午後6時～

ところ 京都ブライトンホテル

演 題 未定

慶應義塾大学総合政策学部政策・メディア大学院 教授 印南 一路氏

現時点で演題は未定であるものの、中医協の公益委員の目線からの講演が行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。（京都医報 2014年8月1日号（No. 2034）参照）

### **3. 最近の中央情勢について（古家理事）**

6月下旬から7月中旬にかけての社会・医療保険状況について、社会保障制度改革推進会議や改正生活保護法施行の話題を中心に説明した。

### **4. 平成26年度京都市高齢者インフルエンザ予防接種について（藤田理事）**

京都市の高齢者インフルエンザ予防接種が10月15日から開始されることに触れ、基本的な取り扱いは昨年と同じであることを示すとともに、各医療機関への郵送申請セットの設置を依頼した。

### **5. 水痘、成人用肺炎球菌ワクチンについて（藤田理事）**

予防接種法等の改正により、10月1日から標記ワクチンが定期予防接種に加えられることを報告し、接種対象者・接種方法を説明。成人用肺炎球菌ワクチンは短期間に続けて打つと副反応が強く出ることから、5年以内の再接種を回避するよう対応を依頼した。また、13価の肺炎球菌ワクチンも高齢者に接種できるようになったものの、定期接種として

認められるのは 23 価のみであるとして、注意を求めるとともに、9 月 18 日（木）に府医で予防接種研修会を開催することを紹介し、多数の参加を呼びかけた。

## **6. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）**

8 月・9 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し多数の参加を呼びかけた。

## **7. 第 40 回京都医学会について（小野理事）**

9 月 28 日（日）に「第 40 回京都医学会」を開催することを紹介。40 回という節目の回数であること、来春の「第 29 回日本医学会総会 2015 関西」のプレイベントであるということ踏まえ、医学会総会の井村裕夫会頭による特別講演ならびに高齢者の終末期医療についてのシンポジウムを企画していると報告し、多数の参加を呼び掛けた。また、来春の日本医学会総会についても、更なる事前参加登録を依頼するとともに、WEB 登録が困難な高齢の会員については地区医事務所でまとめて登録するなどの配慮も考慮していただきたいとして、協力を依頼した。

## **8. その他**

内田府医理事は、全国の国保連で運用されている「国保共同電算処理システム」に不具合があり、京都でも平成 23 年 5 月～平成 25 年 8 月までの期間において被保険者の資格確認の計算業務に不具合が生じていることを報告。全国的な問題であることから、国保中央会、日医、厚労省が協議した結果、原則的には府医が一括して委任状を国保連と取り交わし、保険者間調整を行うものの、月途中で保険者が変更になっていた場合等、医療機関に確認を取る必要があるものについては返戻されるため、医療機関から再請求いただく必要があると説明、協力を依頼した。